

第1章 基本的事項

第1節 作成の趣旨

- 平成20年3月及び平成30年3月に策定した北海道医療計画（以下、「道計画」という。）においては、計画の中核をなす疾病・事業それぞれの医療連携体制の構築とその推進については、地域単位で保健所が市町村、医療機関、関係団体、道民等と共に取組む必要があることから、道計画の策定に合わせ、第二次医療圏の中心となる保健所において、地域の実情に応じた医療連携体制を構築し、円滑に推進するための方針として、圏域ごとに「地域推進方針」を作成し、また、道計画を平成25年3月及び令和3年3月に一部改訂したことにより、地域推進方針についても、平成25年度及び令和3年度に見直しを行っています。
- 現行の地域推進方針の期間は、道計画と同様、おおむね6年間としていることから、令和6年度を始期とする新たな道計画の策定と合わせ、第二次医療圏ごとに設置している保健医療福祉圏域連携推進会議において、現行の地域推進方針における目標の達成状況や施策の進捗状況の評価などを行い、5疾病・6事業及び在宅医療それぞれに係る医療連携体制を構築し、円滑な推進を図るため、上川中部圏域における地域推進方針を作成することとしました。
なお、これまで別冊としていた外来医療計画に係る外来医療機能及び対応方針についても地域推進方針において作成することとしました。

第2節 地域推進方針の名称

- 第二次医療圏の名称を冠し、「北海道医療計画〔上川中部地域推進方針〕」とします。

第3節 地域推進方針の期間

- 道計画の期間に合わせ、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。
ただし、道計画は、在宅医療その他必要な事項については、3年ごとに調査、分析及び評価などを行い、必要がある場合は計画を変更するものとしていますので、地域推進方針についても同様の取扱いとします。

第4節 地域の現況

1 地理・地勢

当圏域は、旭川市と鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛及び幌加内の9町からなり、北海道のほぼ中央に位置して大雪山国立公園を擁し、石狩川が流れ丘陵地帯が広がる豊かな自然に恵まれた地域です。

総面積は、4,238.10 km²で本道の面積の約5.1%に当たり、北海道の屋根といわれる旭岳（2,291m）を主峰とする大雪山系を有し、上川盆地を形成しています。

2 気象

北海道のほぼ中央部に位置し、内陸地帯の盆地であるため、気象は冬季と夏季の寒暖の差が極めて大きく、冬季には最低気温零下41.0℃（明治35年1月25日）、夏季には最高気温38.4℃（令和3年7月31日）を記録する（いずれも旭川気象台観測）など内陸性気候となっています。なお、「零下41.0℃」は気象官署として全国1位の記録です。

3 交通・生活圏

(1) 鉄道

圏域には、函館線をはじめ、宗谷線、石北線、富良野線の4線があり、函館線と宗谷線の一部区間を除き、非電化区間となっています。

電化区間の函館線では、「特急カムイ」と「特急ライラック」が運行され、旭川―札幌間を所要時間1時間25分～1時間41分で結んでいます。

宗谷本線では、札幌―稚内間の特急列車「宗谷」及び旭川―稚内間の特急列車「サロベツ」が運行されており、特急「宗谷」の走行距離396.2kmは日本の気動車特急で走行距離が最も長いものとなっています。

また、石北線には札幌―網走間に特急「オホーツク」、旭川―網走間に特急「大雪」が、富良野線では、旭川―富良野間で「富良野・美瑛ノロッコ号」（トロッコ列車）が臨時列車として運行されています。

(2) 道路

圏域の道路は、国道では12号線をはじめ7路線が走っており、さらに主要道道、一般道道が圏域内を連絡し、これらを軸に市町道が効率的に結ばれています。また、旭川市内の交通混雑を解消するため、国道12号―40号―39号を結ぶ旭川新道（バイパス）が開通しています。

高規格幹線道路網については、北海道縦貫自動車道が、平成15年10月には士別剣淵ICまで整備され、また、地域高規格道路については、旭川十勝道路の一部、旭川東神楽道路が令和4年3月に開通しました。

一般国道の自動車専用道路としては、旭川・紋別自動車道が指定を受け、令和元年12月には遠軽ICまで供用されました。



(3) 都市間バス

旭川に出入りする都市間・高速バス（名寄・留萌は路線バス）本数（往復）は次のとおりです。なお、記載の便数のうち、当面運休とされている路線もあり、慢性的な運転手不足や労働力規制によるバスの減便や廃止が相次いでいます。

道北・留萌方面	往復	遠紋・北網方面	往復	十勝・釧路方面	往復	札幌方面	往復
旭川～枝幸	2本	旭川～紋別	3本	旭川～阿寒湖～釧路	2本	旭川～札幌	31本
旭川～名寄	7本	札幌・旭川～遠軽	2本	旭川～三国峠～帯広	1本		
旭川～留萌	5本	旭川～層雲峡～北見	1本	旭川～狩勝峠～帯広	5本		

令和6年4月現在

(4) 空 港

旭川空港は、昭和41年に開港し、昭和55年6月に第3種から第2種へ港格変更となり、昭和57年7月に定期便がジェット化、平成9年2月には滑走路が2,500mに延長されました。その後、国際線需要の増加に対応するため、平成30年11月に国際線ターミナルビルが増築され、現在、国際航空路線は、旭川－台湾線に1社（タイガーエア台湾）の定期便が就航しています。また、令和5年12月からは同空港で初めてとなる国内格安航空会社（LCC）ジェットスター・ジャパンの成田線が就航しました。

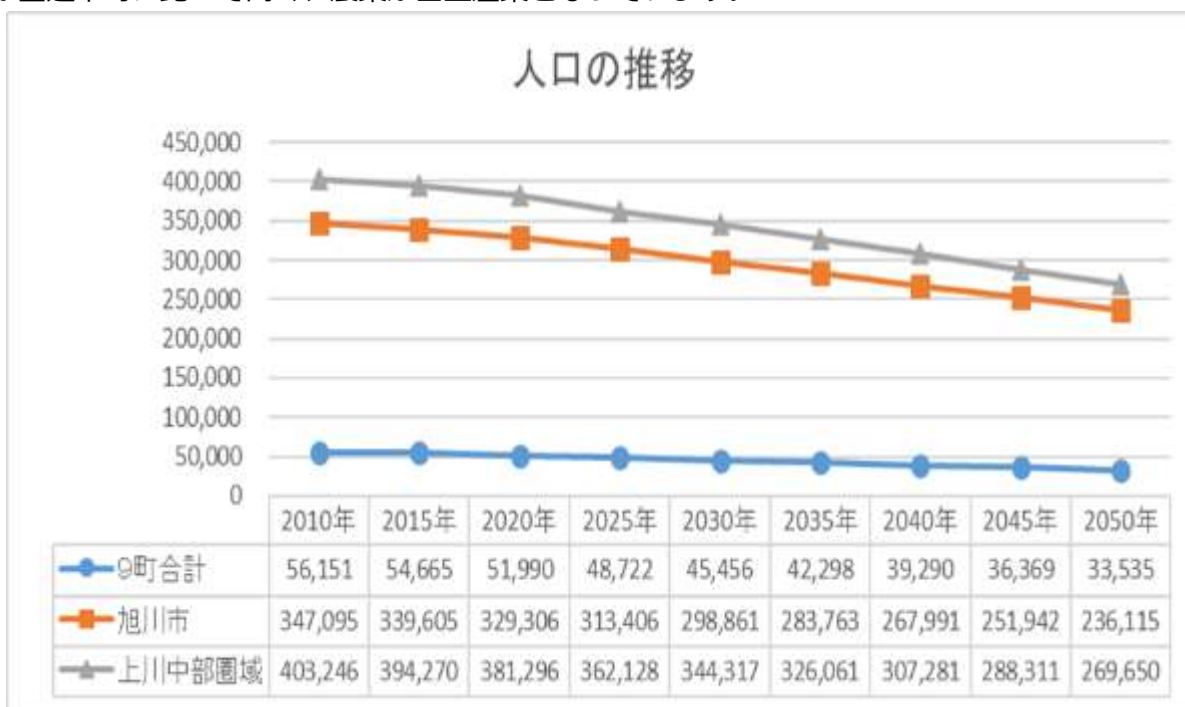
4 人口構造

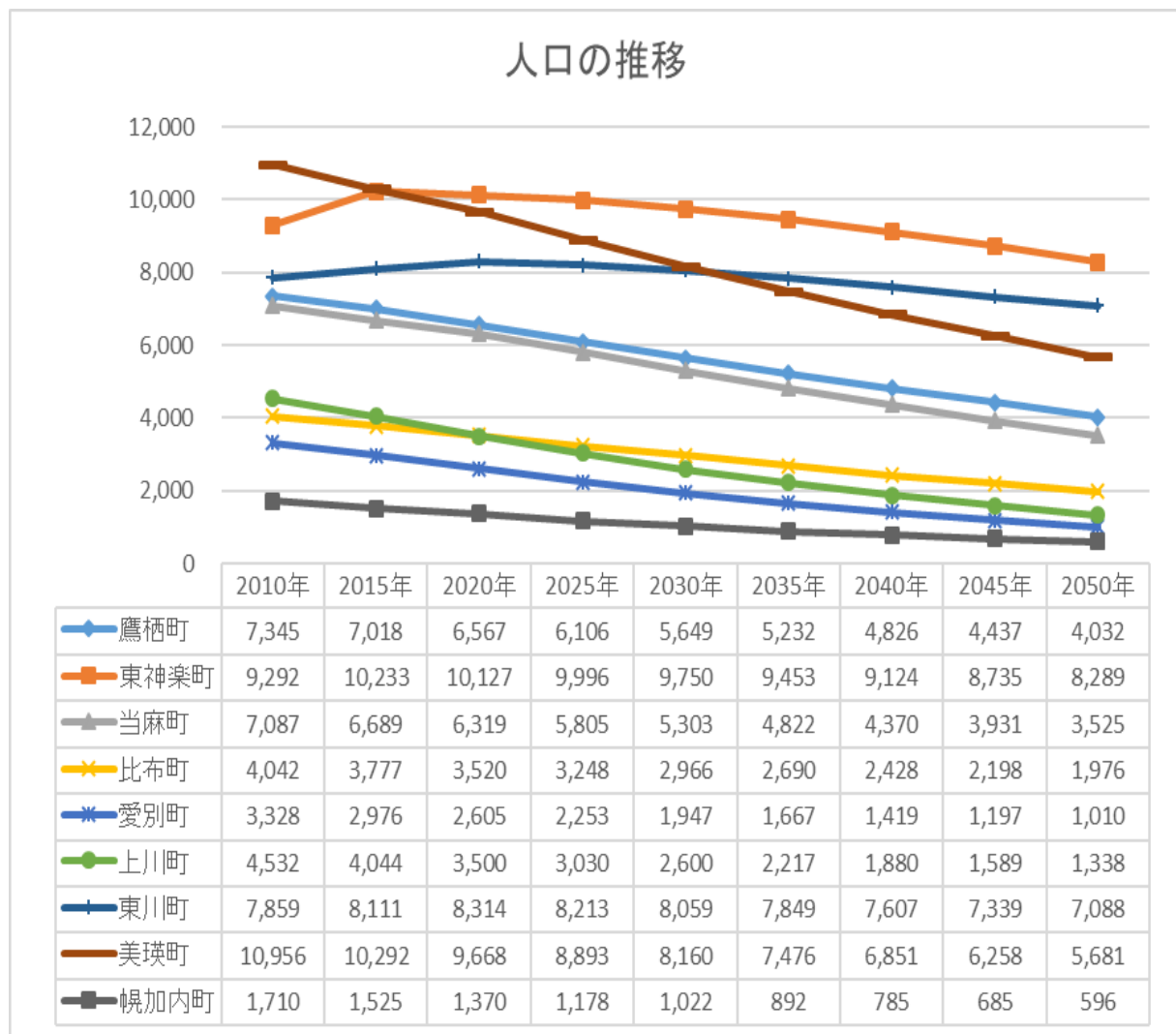
令和2年（2020年）の国勢調査では、上川中部地域の総人口は381,296人、そのうち86%以上を旭川市が占めています。

平成27年（2015年）の国勢調査と比較し、ここ5年間で東川町以外の市町では人口は減少しています。特に愛別町、上川町及び幌加内町では約10%以上の人口が減少しています。

国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口（令和5年推計）では、全ての市町では今後も減少傾向にあり、2050年には約11万人（約29%）の減少が見込まれています。

産業別人口割合では、行政機関、企業の支店・営業所が集まっている旭川市は第3次産業の割合が80%、空港や大きな商業施設を有する東神楽町と層雲峡という観光地を持つ上川町は70%を越え、第3次産業が基盤産業となっていますが、旭川市以外の全ての町では第1次産業の割合が全道平均に比べて高く、農業が基盤産業となっています。





令和2年国勢調査・国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口（令和5年推計）

年齢三区分別構成割合では、平成22年（2010年）の国勢調査時に比べ、令和2年（2020年）では生産年齢人口割合（15歳から64歳）が減少し、老年人口割合（65歳以上）は増加しています。

また、老年人口割合は、東神楽町以外は、全道平均より大きく、半数以上の5町で40%以上となっています。

将来推計人口において、引き続き、年少人口割合（15歳未満）及び生産年齢人口割合は減少傾向となっていますが、今後は、老年人口についても減少に転じると推計されており、2045年には老年人口割合は約45%となると推計されています。



令和2年国勢調査・国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口（令和5年推計）

※ 年齢「不詳」は含まない

5 世帯数

令和2年（2020年）の国勢調査では、上川中部地域の一般世帯数177,768世帯となっており、そのうち約87.5%を旭川市が占めています。また、構成割合で単独世帯数が38.6%（68,486世帯）で上川町、幌加内町以外の市町では、ここ10年間では増加しており、一方、三世代世帯は各市町とも減少しています。

高齢者（65歳以上の親族）のいる世帯については、令和2年（2020年）の国勢調査では、旭川市、鷹栖町、東神楽町、東川町、美瑛町で増加しており、旭川市、東神楽町、東川町以外の町で50%以上となっています。また、高齢者単独世帯数も、各市町ともここ10年間では増加しており、一般世帯数の約16.1%を占めています。

世帯数

市町名	一般世帯数			単独世帯数(再掲)			三世代世帯(再掲)		
	平成22年	平成27年	令和2年	平成22年	平成27年	令和2年	平成22年	平成27年	令和2年
鷹栖町	2,732	2,717	2,649	491	568	623	185	135	107
東神楽町	3,290	3,657	3,830	482	600	798	193	203	140
当麻町	2,743	2,698	2,756	620	682	910	233	159	84
比布町	1,639	1,586	1,563	396	423	517	123	106	59
愛別町	1,332	1,305	1,185	354	431	434	114	68	48
上川町	2,303	2,102	1,901	1,042	997	978	79	61	42
東川町	2,983	3,148	3,391	710	826	1,037	190	157	115
美瑛町	4,301	4,288	4,205	1,098	1,308	1,370	421	303	220
幌加内町	780	690	663	275	245	279	25	16	7
旭川市	154,393	155,747	155,625	51,783	57,488	61,540	5,225	4,315	3,197
上川中部圏域	176,496	177,938	177,768	57,251	63,568	68,486	6,788	5,523	4,019

令和2年国勢調査

高齢者の世帯数

市町名	65歳以上の親族のいる世帯（再掲）			単独世帯数（65歳以上の世帯）（再掲）		
	平成22年	平成27年	令和2年	平成22年	平成27年	令和2年
鷹栖町	1,263	1,365	1,408	258	343	376
東神楽町	1,239	1,471	1,649	250	315	434
当麻町	1,544	1,603	1,571	371	432	542
比布町	942	947	907	210	237	299
愛別町	770	783	756	175	236	262
上川町	1,049	1,053	1,046	350	388	462
東川町	1,316	1,506	1,620	295	363	490
美瑛町	2,330	2,341	2,353	531	653	714
幌加内町	404	364	342	275	101	126
旭川市	59,452	67,265	70,171	18,053	22,400	24,821
上川中部圏域	70,309	78,698	81,823	20,768	25,468	28,526

令和2年国勢調査

6 人口動態

(1) 出生数

令和2年における上川中部圏域の出生数は2,142人で、年々減少しており、30年前の平成2年の約57%となっています。

【上川中部圏域及び全道の出生数の推移】

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
上川中部	3,764	3,499	3,281	3,078	2,903	2,651	2,142
全道	54,428	49,950	46,780	41,420	40,158	36,695	29,523

(厚生労働省 人口動態統計)

(2) 死亡数

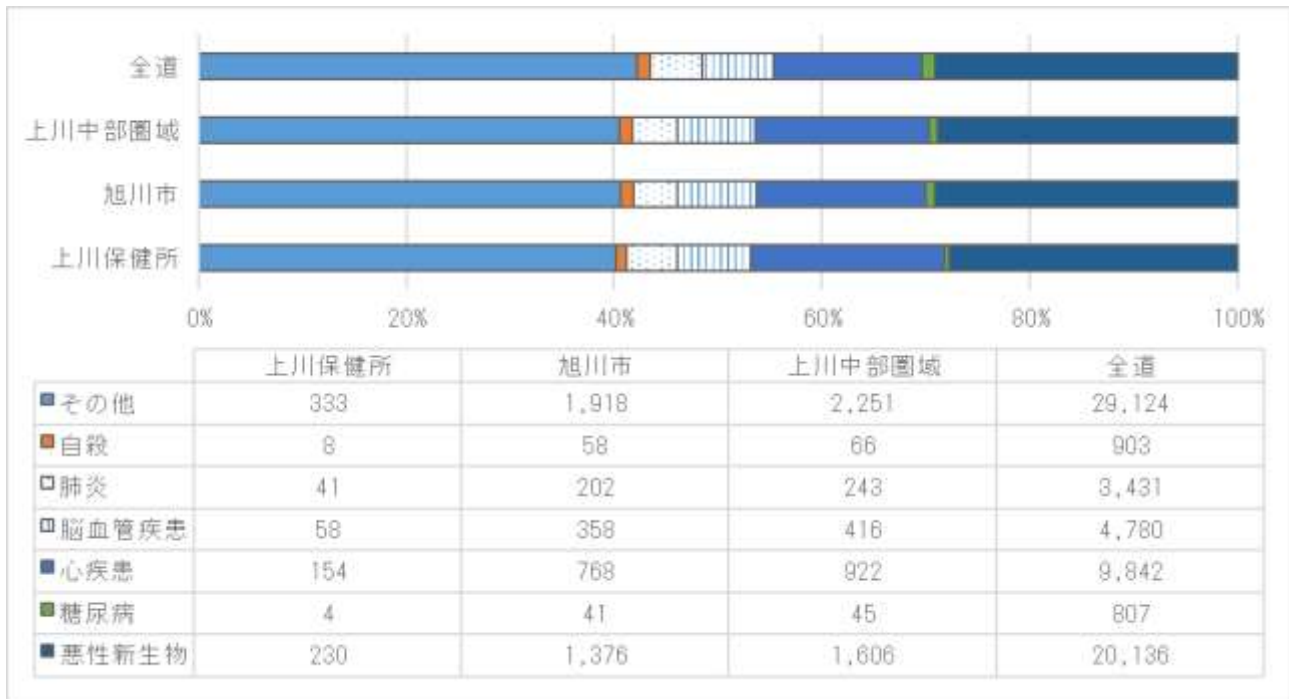
死亡数は、年々増加傾向にあり、令和2年では5,319人となっていますが、周産期死亡数、乳児死亡数は減少傾向にあります。

本圏域の死因順位は、第1位が悪性新生物28.9%、第2位が心疾患16.6%、第3位が脳血管疾患7.5%、第4位が肺炎4.4%となっています。

【上川中部圏域及び全道の死亡数の推移】

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
上川中部圏域	2,671	2,942	3,155	3,739	4,276	4,712	5,319
乳児（再掲）	12	13	10	3	3	3	3
周産期（再掲）	19	34	23	16	11	8	3
全道	36,720	40,678	43,407	49,982	55,404	60,667	65,078

(厚生労働省 人口動態統計)



令和3年度地域保健情報年報

(3) 平均寿命

平均寿命は、北海道では男性が80.9歳、女性は87.1歳となっており、上川中部圏域の平均では、男性が81.1歳、女性は87.3歳となっています。

	鷹栖町	東神楽町	当麻町	比布町	愛別町	上川町	東川町	美瑛町	幌加内町	旭川市	上川中部平均	全道平均	全国平均
男	81.1	80.9	81.5	80.7	81.0	81.6	81.2	81.7	80.8	80.8	81.1	80.9	81.5
女	87.2	87.4	87.4	87.2	87.3	87.4	87.3	87.7	87.3	86.9	87.3	87.1	87.6

令和2年市区町村別生命表

7 患者の受療動向等

受療動向からは、ほぼ圏域内で自給しています。

各町とも、患者の多くは旭川市の医療機関を利用しています。

受療動向

(%)

		地元の医療機関	旭川市内の医療機関	その他地域の医療機関
旭川市	入院	97.8	—	2.2
	外来	98.2	—	1.8
鷹栖町	入院	—	95.7	—
	外来	31.6	67.2	4.3
東神楽町	入院	2.3	95.0	2.7
	外来	33.6	63.7	2.7
当麻町	入院	—	95.8	4.2
	外来	28.3	69.9	1.8
比布町	入院	5.9	92.2	1.9
	外来	16.6	81.9	1.5
愛別町	入院	—	98.4	1.6
	外来	32.7	63.4	3.9
上川町	入院	7.2	89.1	3.7
	外来	46.3	51.0	2.7
東川町	入院	2.5	94.6	2.9
	外来	28.7	68.3	3.0
美瑛町	入院	11.7	83.5	4.8
	外来	41.7	54.2	4.1
幌加内町	入院	—	72.4	27.6
	外来	51.1	33.1	14.9
		圏域内自給率	札幌市内の医療機関	その他地域の医療機関
上川中部圏域	入院	97.9	1.3	0.8
	外来	98.4	0.4	1.3

(令和4年4月～令和5年3月国民健康保険、退職国保、後期高齢者医療制度レセプトデータ)

8 医療施設

(1) 病院

病院数は、平成16年の46施設から年々減少しており、令和2年10月1日現在41施設となっています。

上川中部圏域病院数の約95%が旭川市です。

病院の推移

各年10月1日現在

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東神楽町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
当麻町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
比布町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川町	1	1	1	-	-	-	-	-	-
東川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美瑛町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
幌加内町	1	1	1	1	1	1	-	-	-
旭川市	42	42	42	41	41	40	39	39	39
上川中部圏域	46	46	46	44	44	43	41	41	41
全道	627	613	594	584	574	569	564	557	547

地域保健情報年報

(2) 一般診療所

診療所数も、平成16年の291施設から年々減少しており、令和2年10月1日現在258施設となっています。

上川中部圏域の約89%が旭川市です。

一般診療所の推移

各年10月1日現在

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	3	3	3	3	3	3	2	2	2
東神楽町	4	5	5	4	3	3	3	3	3
当麻町	5	5	5	4	4	4	4	4	4
比布町	3	3	3	4	3	3	3	4	4
愛別町	2	2	2	2	2	2	2	2	2
上川町	3	3	2	3	3	3	3	3	3
東川町	3	3	3	3	3	3	3	3	3
美瑛町	3	3	3	3	3	3	3	3	3
幌加内町	4	4	4	4	4	4	6	6	5
旭川市	261	256	259	252	252	245	244	243	229
上川中部圏域	291	287	289	282	280	273	273	273	258
全道	3,364	3,366	3,375	3,388	3,386	3,377	3,454	3,491	3,351

地域保健情報年報

(3) 歯科診療所

歯科診療所も、平成16年の219施設から減少しており、令和2年10月1日現在192施設となっています。

歯科診療所も、上川中部圏域の約89%が旭川市です。

歯科診療所の推移

各年10月1日現在

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	2	2	2	2	2	2	2	2	2
東神楽町	3	3	3	4	4	4	5	5	4
当麻町	3	3	3	3	3	3	3	2	2
比布町	2	2	2	2	2	2	2	1	1
愛別町	2	2	2	2	1	1	1	1	1
上川町	3	3	3	3	3	3	3	3	3
東川町	2	2	2	3	3	3	3	3	3
美瑛町	4	4	4	4	4	4	4	4	4
幌加内町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
旭川市	197	201	200	196	189	182	178	171	171
上川中部圏域	219	223	222	220	212	205	202	193	192
全道	3,007	3,055	3,027	3,039	3,014	2,978	2,977	2,936	2,840

地域保健情報年報

(4) 薬局

薬局数は、令和2年度末現在205施設で、医薬分業の推進に伴い増加傾向にありましたが、近年は横ばいとなっています。

薬局も、上川中部圏域の約93%が旭川市です。

薬局の推移

各年度末現在

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東神楽町	2	2	2	2	2	2	2	1	1
当麻町	2	4	4	4	4	3	3	3	3
比布町	2	2	2	2	2	2	2	2	2
愛別町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
上川町	2	1	1	2	2	2	2	2	1
東川町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
美瑛町	5	6	6	5	5	5	5	5	5
幌加内町	1	1	1	1	1	1	1	1	-
旭川市	178	182	182	179	185	193	194	191	190
上川中部圏域	195	201	201	198	204	211	212	208	205
全道	2,101	2,190	2,190	2,261	2,293	2,341	2,350	2,342	2,336

地域保健情報年報

9 医療従事者

(1) 医師数

令和2年は、平成16年と比較して旭川市では約13%、東神楽町では43%の増加となっておりますが、その他の町では減少傾向となっており、医師の充足が難しい状況となっております。

旭川市の医師数は上川中部圏域の約98%となっており、旭川市に集中している状況です。

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	3	2	2	2	2	2	2	2	1
東神楽町	7	6	6	7	5	7	5	8	10
当麻町	3	3	3	3	2	3	3	3	3
比布町	1	1	1	1	1	2	2	2	1
愛別町	1	1	1	1	2	2	2	1	1
上川町	4	4	4	3	4	3	4	3	3
東川町	3	2	2	3	2	3	3	3	3
美瑛町	8	7	7	6	7	8	8	8	8
幌加内町	3	3	4	3	3	2	2	1	2
9町合計	33	29	30	29	28	32	31	31	32
旭川市	1,205	1,221	1,258	1,281	1,278	1,280	1,339	1,364	1,364
上川中部圏域	1,238	1,250	1,288	1,310	1,306	1,313	1,370	1,395	1,396
全道	12,201	12,307	12,447	12,612	12,853	12,987	13,309	13,425	13,731

地域保健情報年報

(2) 歯科医師数

平成16年から令和2年まで、9町ではほぼ横ばいですが、圏域全体では減少しています。

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	2	2	2	2	2	2	2	2	2
東神楽町	3	3	3	6	3	3	6	6	6
当麻町	3	3	3	2	4	4	4	3	3
比布町	3	3	3	1	3	3	3	2	2
愛別町	2	2	2	1	1	1	1	1	1
上川町	3	2	2	3	3	3	3	3	3
東川町	2	2	2	2	3	3	3	3	3
美瑛町	5	4	4	5	4	5	6	5	5
幌加内町	1	2	1	0	0	0	0	1	1
9町合計	24	23	22	22	23	24	28	26	26
旭川市	268	277	277	269	261	253	254	254	246
上川中部圏域	292	300	299	291	284	277	282	280	272
全道	4,325	4,363	4,409	4,457	4,469	4,483	4,440	4,419	4,418

地域保健情報年報

(3) 薬剤師数

医薬分業の推進に伴い、平成16年から平成30年まで増加傾向でしたが、令和2年ではほぼ横ばいとなっています。

薬剤師数

各年末現在

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	2	2	2	2	3	2	3	4	3
東神楽町	4	4	4	5	5	5	5	6	4
当麻町	2	4	4	4	4	3	3	4	6
比布町	3	3	3	3	3	3	3	3	3
愛別町	2	1	1	1	1	2	3	2	1
上川町	5	5	5	6	6	6	6	8	6
東川町	2	2	2	2	2	0	3	4	7
美瑛町	11	13	13	16	15	14	11	14	14
幌加内町	2	2	2	2	2	2	2	-	1
9町合計	33	36	36	41	41	37	39	45	45
旭川市	709	707	761	789	811	826	868	879	876
上川中部圏域	742	743	797	830	852	863	907	924	921
全道	9,704	10,024	10,448	10,568	10,585	10,803	11,321	11,582	11,802

地域保健情報年報

(4) 保健師・助産師数

保健師は、令和2年と平成16年とを比較して、増加傾向にあります。

助産師は、各町に分娩施設がないことから、ほぼ全数が旭川市であり、令和2年度は158人と平成16年と比較し増加しています。

保健師数

各年末現在

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	5	5	6	5	8	9	9	10	9
東神楽町	5	5	5	6	8	10	12	12	11
当麻町	5	5	5	5	5	5	5	6	6
比布町	5	5	5	5	5	6	5	6	5
愛別町	4	4	4	4	4	4	4	6	5
上川町	6	6	5	5	6	6	6	7	5
東川町	5	5	5	6	6	7	8	8	9
美瑛町	6	7	9	9	10	14	16	15	19
幌加内町	4	4	4	4	4	4	5	5	5
9町合計	45	46	48	49	56	65	70	75	74
旭川市	131	144	167	179	195	205	180	189	187
上川中部圏域	176	190	215	228	251	270	250	264	261
全道	2,506	2,549	2,721	2,764	2,874	3,028	2,919	3,203	3,071

地域保健情報年報

助産師数

各年末現在

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	1	1	1	1	1	1	1	-	1
東神楽町	-	-	-	-	-	-	2	2	1
当麻町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
比布町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛別町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東川町	-	-	-	-	-	-	1	-	-
美瑛町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幌加内町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9町合計	1	1	1	1	1	1	4	2	2
旭川市	117	125	132	145	146	159	150	156	156
上川中部圏域	118	126	133	146	147	160	154	158	158
全道	1,417	1,425	1,494	1,526	1,585	1,647	1,552	1,668	1,620

地域保健情報年報

(5) 看護師・准看護師数

看護師については、令和2年は、平成16年と比較し2,166人（62.9%）増加していますが、准看護師は622人（29.0%）減少しています。

看護師数

各年末現在

市町名	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
鷹栖町	4	5	5	5	10	17	10	14	14
東神楽町	17	19	22	22	35	35	48	54	62
当麻町	8	14	17	17	17	20	24	20	25
比布町	4	2	3	3	4	5	6	8	6
愛別町	-	2	2	2	0	2	2	2	3
上川町	18	16	16	15	9	19	22	34	22
東川町	9	15	16	17	24	29	30	27	34
美瑛町	56	62	69	66	75	71	71	67	69
幌加内町	9	9	7	7	10	14	8	4	8
9町合計	125	144	157	154	184	212	221	230	243
旭川市	3,317	3,558	3,960	4,290	4,560	4,863	4,768	5,263	5,365
上川中部圏域	3,442	3,702	4,117	4,444	4,744	5,075	4,989	5,493	5,608
全道	40,717	43,450	46,995	50,849	54,555	57,732	57,214	64,456	66,859

地域保健情報年報

准看護師数

各年末現在

市町名	平成 16 年	平成 18 年	平成 20 年	平成 22 年	平成 24 年	平成 26 年	平成 28 年	平成 30 年	令和 2 年
鷹栖町	8	4	5	5	5	3	3	4	3
東神楽町	42	53	47	46	48	44	44	29	37
当麻町	16	23	20	21	22	19	18	16	14
比布町	10	10	11	14	7	12	10	12	12
愛別町	5	4	7	7	8	8	7	4	8
上川町	11	11	10	7	9	8	5	15	5
東川町	20	16	16	17	18	16	13	6	16
美瑛町	33	28	28	28	26	26	26	21	18
幌加内町	11	10	9	7	8	7	5	-	5
9町合計	156	159	153	152	151	143	131	107	118
旭川市	1,991	1,960	1,916	1,820	1,757	1,726	1,424	1,509	1,407
上川中部圏域	2,147	2,119	2,069	1,972	1,908	1,869	1,555	1,616	1,525
全道	23,951	23,589	22,615	21,449	20,286	19,172	16,130	16,699	14,913

地域保健情報年報